

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年11月3日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	348	48	5	167	162	382
令 和 6 年	307	47	3	139	145	334
前 年 同 期 比	41	1	2	28	17	48

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	68	19.5%	10	0	34	30	74
	後立山	87	25.0%	8	1	38	56	103
	その他	56	16.1%	1	0	36	25	62
計		211	60.6%	19	1	108	111	239
中央アルプス		24	6.9%	6	1	10	9	26
南アルプス		11	3.2%	0	2	8	1	11
八ヶ岳連峰		35	10.1%	5	0	19	12	36
その他の山岳		67	19.3%	18	1	22	29	70
計		348		48	5	167	162	382

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	93	26.7%	28	0	67	0	95
転 倒	87	25.0%	1	0	86	0	87
病 気	28	8.0%	8	0	0	20	28
道 迷 い	32	9.2%	0	0	0	49	49
落 石	7	2.0%	0	0	7	0	7
雪 崩	2	0.6%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	57	16.4%	2	0	0	59	61
不明・他	42	12.1%	8	5	6	33	52
計	348		48	5	167	162	382

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
1 9 歳以下	0	0	0	7	7	45 17.0%	0	0	1	0	1	18 15.4%	8	63 16.5%
2 0 代	1	0	4	17	22		0	0	1	5	6		28	
3 0 代	4	1	4	7	16		0	0	3	8	11		27	
4 0 代	5	1	13	14	33	85 32.1%	1	0	16	3	20	46 39.3%	53	131 34.3%
5 0 代	7	0	21	24	52	135 50.9%	1	0	19	6	26	53 45.3%	78	188 49.2%
6 0 代	9	2	31	26	68		0	0	22	8	30		98	
7 0 以上	20	1	18	28	67		0	0	14	9	23		90	
計	46	5	91	123	265		2	0	76	39	117		382	
比 率	69.4%						30.6%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（10/27～11/3）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
11月2日	ハケ岳連峰 縞枯山	男	71	死亡	発病	4人パーティで縞枯山から下山中、発病

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、**1件**の山岳遭難が発生し、**発病による死亡遭難でした。**
県内は、先週末に志賀高原や湯の丸高原などで、道路上にも降雪があり、本格的な冬の訪れとなっています。
標高が高い山域では、既に厳しい冬のシーズンとなり、北アルプスでは50センチ以上の積雪となるなど、ハケ岳連峰や中央アルプス、南アルプスでも、厳しい寒さとなっています。
入山前には、必ず気象情報を確認し、天候が悪い場合には、登山の中止を検討しましょう。

低気圧の通過
前線の通過
冬型が強まる
寒気の流入 などのワードが出た場合は要注意！

また、晴天でも低温下では、身体に大きな負担となるため、持病がある方は医師に相談しましょう。

北アルプスの山域では、11月3日をもって多くの山小屋の営業期間が終了しました。
【注意：通年営業している山小屋もあります】
この冬期期間は
『ハシゴや橋、クサリの撤去』や『山小屋の営業期間終了』
『登山口までのアプローチ道路の通行止め』

があるので、**入山前に必ず情報収集**を行ってください。登山口に注意喚起の張り紙等の掲示がされている場合は、必ず確認しましょう。
また、アイゼンやピッケル、ビーコンの準備・携行もお忘れなく！